

士別市地域公共交通活性化協議会

平成20年2月28日設置
平成21年3月23日連携計画策定



概要

士別市は、広い行政面積のなかで集落が分散し、農村部における路線バスの運行効率が低いこともあって、バス事業者の赤字や市の財政負担が増大しているが、住民からは、中央市街地と農村部を結ぶ「地域の足」としての路線維持や公共交通利用時における快適性・利便性の向上が強く求められていることから、利用者ニーズにあったバス路線・ダイヤへの見直し、快適なバス待合施設の整備、デマンドシステム・乗合タクシーの導入等により、効率的で利便性の高い持続可能な公共交通体系の構築を図る。

バス路線、ダイヤの見直し(21年度～)

- ・利用者の利便性を高めるため、利用者のニーズを踏まえた新たなルート設定やルート変更、ダイヤ改正を行うこととし、総合福祉センターと主要施設等を結ぶ乗合タクシーの導入を図る。

快適なバス待合所の整備(21年度～)

- ・住民から快適なバス待合所施設の設置が望まれていることから、雨や雪などの日も安全にバスを待つことができるバス待合所施設の整備を進めるとともに、待合所の除雪や清掃などの維持のあり方について、改善を図る。

デマンドシステム・乗合タクシーの導入(21年度～)

- ・既存路線バスでは住民ニーズに対応できる区域が限定されており、利用者も減少傾向にあることから、効率性と利便性を高める公共交通として見直しを図り、地域の大切な移動手段の維持、確保を目的とした、デマンドシステム及び乗合タクシー導入の実証運行を行う。
- ・温根別北線において、21年10月からデマンドシステムによる運行を行い、高齢者に配慮した予約方法や運行車両等について検証を行う。

